

喜界町



# 議会だより

186号

令和4年1月31日発行

ハガキアンケートにご協力を



主	補正予算の主なもの	2
な	一般質問に7名が登壇	5
内	議会のうごき	12
容	はがきアンケート	13
	読者の声・編集後記	14



発行/喜界町議会 編集/議会広報委員会  
 〒891-6292 鹿児島県大島郡喜界町湾1746番地  
 TEL:0997(65)1115・FAX兼用

写真・消防出初式

# “子育て世帯臨時特別給付金10万円現金給付へ”

令和3年第4回定例会は、12月2日開会し12月10日まで9日間の会期で開かれた。12月2日、3日は、一般質問があり7名が登壇。また、同意3件を同意し、議案7件を各常任委員会に付託した。12月10日の最終本会議では、各常任委員会の委員長から報告があり、議案7件と追加議案1件を可決した。

## 補正予算の主なもの

### ● 総務文教常任委員会付託分（委員長 生駒 弘）

担当課	事業名	内容説明	予算額(△減額)
喜界 消防分署	非常備消防費（普通旅費）	知名町で開催予定の消防団のポンプ操法大会が新型コロナウイルス感染症予防のため中止	△1,517千円
総務課	（歳入）国有提供施設等所在市町村助成交付金	自衛隊が使用する通信施設等に供する土地、建物及び工作物に対する追加交付金（補正前の額は12,215千円）	1,527千円
	（歳入）地方特例交付金	個人住民税減収補填特例交付金及び軽自動車税減収補填特例交付金	289千円
	（歳入）地方交付税	追加の普通交付税	81,399千円
	総務管理費（電算管理費）	電算の基幹サーバーバッテリー交換（761千円）及び保守料（253千円）	1,014千円
	総務管理費（情報無線施設管理費）	個別受信機の屋外アンテナ設置費（96千円）、戸別受信機修繕費（210千円）、百之台中継局、屋外スピーカー3カ所等修繕費（1,398千円）など	2,568千円
	災害復旧費（その他公共施設・公営施設災害復旧費）	町民税務課事業以外で軽石関係に係る経費	2,000千円
企画観光課	総務費（企画費）	スズメバチ駆除に係る経費	807千円
	総務費（企業誘致関連事業）	IT企業(株)バイタライズ喜界島支所の旧荒木小学校への移転に伴う修繕費。トイレ取り替え工事等	950千円
	総務費（移住促進事業費）	島中旧教員住宅面積拡大に伴う追加の土地購入費（1,165千円）及び中間・花良治空家改修補助金（824千円）	1,989千円
	商工費（観光費）	阿伝トイレ修繕費（160千円）及びシマ歩きガイドへの補助金（145千円）	305千円

担当課	事業名	内容説明	予算額(△減額)
企画観光課	商工費 (新型コロナウイルス感染症対応)	事業者支援交付金(事業者相談件数計14件の内10件分)	5,135千円
町民税務課	(歳入) 県支出金 (衛生費県補助金)	海岸漂着物地域対策推進事業補助金で軽石関係の費用の増額分。補助率90%、第一次分	5,832千円
	衛生費(清掃費)	塵芥処理のための燃料費及び光熱費	1,450千円
	衛生費 (海岸漂着物地域対策推進費)	委託先はシルバー人材センター、志戸桶は地元建設会社、スグラビーチは指定管理者	8,596千円
	衛生費 (廃棄物処理施設整備費)	実施設計委託料、地質調査、測量調査、開発行為許可申請の費用	1,410千円
教育委員会 事務局	(歳入) 県支出金 (教育費委託金)	埋蔵文化財発掘調査委託金増額分	45,000千円
	農林水産業費 (自然休養村管理センター運営費)	コロナワクチン接種会場として使用したことにより、光熱費が不足	300千円
	教育費(教育総務費)	教員用公務支援システムのネットワーク保守委託料3校分	592千円
	教育費(小学校費)	エアコン導入により光熱費増額。喜界小の変圧器取り替え、早町小プール排水工事等	4,638千円
	教育費(中学校費)	エアコン導入により光熱費1,500千円増額。コロナ禍による集団宿泊中止等のため減額(2,454千円)	△954千円
	教育費(社会教育総務費)	令和4年度成人式参加者50名のPCR検査費用(一人2万7千円)	1,350千円
	教育費(公民館費)	乗用草刈り機修繕費	320千円
	教育費 (埋蔵文化財発掘調査費)	発掘作業を行った手久津久地区の整理作業。主な内容は科学分析、発掘調査業務民間委託料39,285千円等	50,004千円

## ● 産業福祉常任委員会付託分 (委員長 野間 弘也)

担当課	事業名	内容説明	予算額(△減額)
農業振興課	農地費 (県営畑地帯総合整備事業負担金)	埋蔵文化財発掘調査の結果を国へ報告するための報告書作成に関わる町の負担分	8,100千円
	鳥獣防止対策事業費 (カラス施設管理委託料)	捕獲量の増による。1匹1,500円の委託料、捕獲施設は5カ所	270千円

担当課	事業名	内容説明	予算額(△減額)
まちづくり課	地方改善施設整備事業 (工事請負費)	吉川おみやげセンター横の町道を整備する予定が、設計に疑義があることから見直しを行い、来年度整備を行う予定	△8,129千円
	道路維持費(修繕料)	塩道のガードポール(ポール型反射板)設置	3,000千円
	道路新設改良費(工事請負費)	通学路にスクールゾーン(県道に引かれている緑のライン)設置。広報活動に取り組みスクールゾーンの周知を行う	11,500千円
	港湾整備費(修繕料)	上嘉鉄港の標識等の修繕	651千円
	住宅管理費(住宅移転費用)	湾水洗住宅から湾宮戸住宅へ移転した4世帯分の移転費	560千円
保健福祉課	母子保健事業費 (諸検診業務委託料)	3歳から6歳の接種費用を一人当たり1,650円の二回分まで助成を行う	165千円
	母子保健事業費 (インフルエンザ予防接種助成金)		495千円
	健康増進事業費 (帰島に要する旅費助成金)	新型コロナウイルスに感染し、島外で治療を行った人への帰島費用を一人当たり上限3万5千円助成	350千円
	民生費国庫補助金 (子育て世帯等臨時特別支援事業費給付金補助金)	18歳以下の子供がいる世帯へ子供1人当たり10万円給付(12月24日臨時議会議決分含む)	122,000千円

## ◆ 条例・陳情等案件報告

(議長は採決に含まず)

議案	内容	賛成	反対	採決
議案第50号	喜界町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について 子育て世帯の経済的負担軽減のため、子どもの保健税均等割額を軽減するもの。対象は全世帯の未就学児。負担割合は、国1/2、県1/4、町1/4	11	0	可決
議案第51号	喜界町国民健康保険条例の一部を改正する条例について (国の算定基準変更に伴い、出産育児一時金を現行の40万4千円から40万8千円へ改正)	11	0	可決
同意第5号	固定資産評価委員会委員の選任について：小林 学 氏	11	0	同意
同意第6号	教育委員会委員の任命について：大山 巧 氏	11	0	同意
同意第7号	教育委員会教育長の任命について：久保 康治 氏	11	0	同意

# 一般質問

## 町政のここが聞きたい

第4回定例会で7名の議員が町政全般にわたり一般質問を行いました。質問と答弁を要約して紹介いたします。



質問する  
土岐 和貴 議員

### 「少しでも働きたい」障害者の方々が活躍できる場を

質問

本町での障害者雇用促進に向けて取り組んでいる、もしくは計画中の事業があるか見解を伺う。

答弁 保健福祉課長

10月に県事業の農業法人等による障害者の農業体験等受入支援事業を活用し支援を行った。障害者の特性により、全ての人が同じ作業を同じ量行うことは困難であり、その人の特性に応じた対応が必要である。関係機関と連携しながら、就労希望の障害者の把握、特性を調査し、ニーズに応じた就労支援に取り組む。



農福連携人材育成研修会

質問

近年、農業と福祉の融合「農福連携」が注目されている。本町での農福連携に対する考え方や現在の取り組みについて伺う。

答弁

保健福祉課長・農業振興課長  
基幹産業が農業である本町にとつて、障害者の就労や生きがいづくりの場の創出、農業担い手不足の解消のためにも、必要な取り組みである。その中で、作業従事者と受入農家と両者を取り持つマッチング、調整役など、体制づくりが重要となっている。

質問

今後、事業等の活用や、農福連携人材育成研修会等に出席し、知識を深めて取り組む。

質問

町単独の企業等への助成制度を設け、受け入れやすい環境を整えていくことで障害者雇用の拡大に繋がると考えるが見解を伺う。

答弁

保健福祉課長  
どういった作業なら就労が可能なのか、調査が必要である。それらを把握した後、助成制度の必要性を検討したいと考えている。

### 漁業や観光業に救いの手を

質問

軽石被害の現状や被害額について伺う。

答弁

企画観光課長  
漁業関係の被害状況は漁船9隻が、軽石の詰まりによるオーバーヒートや漁船の故障により、漁具、ソデイカ漁の仕掛けが回収できなかった事案も報告されている。被害

質問

額は、概算で修繕費、漁具等で約270万円である。県の観光調査では、マリレジャー業者において、予約のキャンセル並びに営業自粛による営業被害額が約70万円と報告されている。

質問

軽石の影響で観光業や漁師は不安を抱えながら日々過ごしている。対応策や現在の取り組みについて伺う。

答弁

企画観光課長  
海岸線及び海水浴場等は、補助事業を活用し軽石の除去作業を行っている。また、各ボランティア団体での、軽石の回収作業も実施されている。船舶事故修繕資金貸付制度の利用については漁協へ提案している。

質問

近年、密漁が増えていると漁業関係の方々から報告を受けている。本町での対応策や取り組みについて伺う。



**質問**

獣医師の出張診療による年間の出張件数及び、去勢、避妊手術は何匹位か。

**答弁** 町民税務課長

平成31年の4月からの合計の診療回数は15回に上っている。今年度は後2回予定をされている。令和元年度、犬が163匹、猫が380匹、その他1匹。令和2年度、犬が128匹、猫320匹。令和3年度がこれまで3回で犬90匹、猫199匹、その他2匹。合計で犬が381匹、猫899匹、その他3匹。これらの総合計が1,283匹となっている。

**質要**

奄美いんまや動物病院の出張診療で、多くの方々がペットの適正な飼い方等について気軽に相談でき、人間と動物が共存する環境をつくる啓発にも繋がっている。診療中は飼い主同士の情報交換の場にもなり、動物病院が核となっているのも事実である。町内の猫の対策を推進していく上で、奄美いんまや動物病院の協力は不可欠と考える。診療体制をより一層支えるよう、本町からの働きかけやサポートが必要ではないかと考える。

**質問**

獣医師の船の運賃等を助成出来ないか。

**答弁** 町民税務課長

本町も出張診療の継続を今後もお願いしたいと思っている。船運賃等の補助については新年度のほうで対応したい。

**質要**

奄美市では、飼い猫の適正な飼育及び管理に関する条例があり、猫の登録が義務づけられていると伺っている。本町でも同様の登録制度はできないものか否か。そのことによって飼い猫と野良猫の判別が可能となるのではないか。

**質問**

飼い猫の登録は可能か否か。

**答弁** 町民税務課長

導入を検討する場合は猫の飼育主等になぜ登録が必要なのか、登録の目的は何になるかなど合意形成を図る必要があると考える。現在、登録制度は考えていない。所有者明示、首輪のほうに猫と所有者の名前を書く事は広報きかいでも度々広報するようにしている。

**災害時の避難場所確保に向けて**

**質問**

災害時、海岸近くの老人福祉施設の入居者の避難訓練及び避難場所について伺う。地球温暖化の影響で、台風が巨大化されると考えられる。また、南海トラフによる巨大地震も予想されることから、年に1回程度の避難訓練はできないか。

**答弁** 町長

避難については、基本的には施設が立てた災害時の避難計画や方針が基になると考える。町の地域防災計画でも、福祉避難所の設置や要配慮者、それから福祉施設等の避難体制の強化をうたっている。施設の個別避難計画を基に、自主防災組織や地域住民も含め、お互いに連携を図っていく必要がある。いざという場合にスムーズな避難ができるよう連携して、施設の実態に即した実践的な訓練ができればと考えている。

**質問**

巨大地震を想定した避難場所の確保はできているのか。台所とトイレの設置がされた避難場所の確保が必要だと考える

が、見解を伺う。

**答弁** 町長

大きな地震が来たときは、高台に避難することが基本だと考えている。施設ごとなどの避難場所が適しているのか、また一時的な避難場所からさらに高い場所への避難も求められてくると考える。要配慮者に対するサポート等、課題が考えられる。訓練を通して避難の方法、施設の個別避難計画も検証し、日頃から地域との関わりを密にするなど官民のサポート体制を確立して行くことが重要だと考える。



質問する  
幸一美 議員

**自然災害の対応は住民、行政、警察、消防連携して対処**

**質要**

今年はいよいよ台風の襲来もなく、災害が無かった。今後はスーパー台風や南海トラフ地震で津波も5m以上、東日本大震災に匹敵する規模とも言われており対応が必要

となる。

## 仮設住宅や災害住宅の建設が必要ではないか

質問

本町は築40年以上の建物が多  
い。高齢者の住宅倒壊後自力での  
再建は難しい。被災者が安心して  
暮らせるよう体制作りが必要だ。  
台風や地震、津波による家屋倒壊  
に備えて、短期的な仮設住宅、長  
期的には災害用住宅の建設が必要  
ではないか。

回答 総務課長

住家の消滅が40世帯未満の場  
合、災害救助法が適用されず、喜  
界町で対応し、町所有の住宅の空  
室を活用する他、民間の住宅等を  
借り上げながら、県へ協力依頼と  
なる。災害救助法適用の大規模災  
害の場合は、仮設住宅建設が必要  
となり、県が主体的に関わるので  
連携して総合グラウンド、学校跡地  
等、町有地数か所を確保しておき  
たい。

## 車両や災害復旧車両等の燃料確保について

質問

町内の給油所は殆ど海拔4m以

内が多いため、被害を受ける恐れ  
がある。災害復旧の工事車両が給  
油できないと災害復旧の遅れにな  
る。給油事業所との契約はどうなっ  
ているか。

また、公用車両、職員車両は常  
に満タンにするよう要請はできな  
い。

回答 総務課長

給油会社とも消防、警察、役  
場等の車両や発電機の燃料確保を  
優先する協定を締結している。事  
業所が海拔低地域に多いので、被  
害を受けた際は島外から補給が可  
能か手抜き無きようしていきたく  
い。台風の際は事前に公用車両は  
満タンにするよう指示しているが、  
個人所有車には特に指示はしてい  
ない。

## 消化活動、けが人救出について

質問

本町は外海離島にあり、災害時  
の外部からの早急な支援要請は困  
難を来す。大規模災害発生時、  
現状の体制で消火活動、人命救助  
がどの程度可能か。

回答 喜界分署長

大規模災害時に島外からの応援  
要請は難しいので、役場、警察、

消防署、消防団、集落区長を中  
心に連携し、地域住民と一体とな  
って対処していく。現在消防職員15  
名、消防団員110名も定期的な  
防災訓練や救急訓練等を実施し不  
測の事態に対処できるよう励んで  
いるが、近隣住民の協力も必要。  
また、建設会社と応援協定を結び  
重機等の提供をお願いしている。



質問する  
生島 常範 議員

## 高齢者の健康増進・社会参加活動促進事業は見直し検討中

質要

鹿児島県が推奨し平成25年から  
開始した個人向け、団体向けの「高  
齢者元気度アップポイント事業」  
は群島内で本町だけ中止状態であ  
る。健康増進、介護予防、社会参  
加活動など効果が期待され、復活  
を望む声が多い。

質問

内容を検証し、復活する計画は  
ないか。また、前回、砂浜のゴミ  
拾いを毎朝実施している高齢者グ  
ループが不承認になったが、現在も  
活動は継続している。こうした自  
発的で周囲へ波及する活動も加え  
るべきではないか。

回答 保健福祉課長

事業中止の理由は、元々社会活  
動に参加している方が殆どであっ  
た。ポイントをもらったらすぐ帰る  
不適切利用があった。ポイントが  
無くても活動するという声があっ  
たため、工夫、検証するため休止  
した。再開に向けては、高齢者の  
みならず、全ての年齢層を対象に  
した高齢者を支援する活動等を検  
討中。不承認の理由は参加者減少  
によるものだが、行政やポイントに  
頼らない自発的な地域活動こそ必  
要なので推進していきたい。

## 「美しい町づくりは「道路脇の草むらを作らない」から!!

質要

本町は平成21年に「日本で最も  
美しい村連合」に加盟し、今後は  
「大地の公園」(ジオパーク)参加  
も目指しているが、空き缶等のポ

イ捨て、不法投棄が改善されない。毎月第3日曜日は「家庭の日・ふるさと美化活動」と設定し、町挙げて美化活動に取り組む活動をしている。路肩の白線やガードレールは常にはつきり分かるようにすべき。道路脇の草むらを無くす啓蒙活動、看板等を設置している自治体もある。

#### 質問

ふるさと美化活動の実施状況と以前のように広報誌での呼びかけの他、直前の行政無線での呼びかけが必要ではないか。また草むらにゴミを捨てる傾向があるので、道路脇を常に綺麗に保つための工夫が必要ではないか。

#### 答弁 町民税務課長

区長会と共催の7月第3日曜日の全島一斉美化作業は町民税務課が呼び掛けている。2基設置済みの「ゴミ鳥居」が二番効果がありそうだ。しまゆみた看板も区長会、集落、水土里サークル等と検討したい。

#### 答弁 教育長

第3日曜日の活動は教育委員会が所管。青少年育成町民会議が提唱してきたが、各集落、団体によって活動日が異なっていると聞いて

いる。啓発活動については、広報誌掲載を検討したい。行政無線放送については、区長会や関係団体と協議したい。

#### 答弁 農業振興課長

農地については、個人で出来ない所は水土里サークルや地域でお願いしており、尚対処出来ない箇所は町が行う事が基本的考えである。

#### 「時を告げる音楽」に島の文化を各方面と連携して検討

#### 質要

県紙で行政無線の「時を告げる音楽」に「夕焼け小焼け」ではなく、地元の民謡を流していると紹介された。本町は「自らとふるさとに自信と誇りをもつ教育」を実践しているが、子ども達だけではなく、地元住民、来島者にも午後3時の「町民歌」同様、喜界島の「音楽文化」を紹介することで、故郷への愛着、誇り、個性的な文化の紹介が可能だ。

#### 質問

シマ唄、八月踊り唄、新民謡、島内各学校の校歌等を「時を告げる音楽」に取り入れ、定期的に更新して放送することはできないか。

#### 答弁 町長

防災行政無線の音楽はスピーカーのチェックのため流しているが、島の文化への取り組みの観点から、教育委員会と連携を図っていききたい。

#### 答弁 教育長

現在、学校では島の伝統文化の鑑賞活動に取り組んでいるが、学校だけでは限界もある。その課題解決の一環として「時を告げる音楽」でしまゆみたやシマ唄に触れることが可能である観点から系統的に総務課と検討して行きたい。

#### 伝統文化継承に向けた実態調査、住民アンケートは協議しながら検討

#### 質要

沖縄県と沖永良部島が「しま言葉意識調査」を実施し、それぞれ82%、89%が「使ってほしい」、「次世代に継承したい」と回答している。本町の子ども達や学校の関心も高い。

#### 質問

本町では各学校において、グローバル教育とローカル教育を同時に進めているが、学校だけではなく、家庭でも地域でも触れるようになるのが理想である。隈崎町長の選

挙公約にも「島特有の文化継承に努めます」とある。沖縄県や沖永良部島が実施しているような住民にアンケート調査を実施し継承の機運を高めることが必要ではないか。

#### 答弁 教育長

本町の教育行政の施策にも、豊かな文化、伝統の継承を提唱している。しまゆみた、島唄、八月踊り等伝統文化は衰退傾向にあるので、社会教育委員会の会等と協議しながら検討していく。

#### 答弁 町長

教育委員会を通じてそうした島の文化継承に力を入れて行動したいと考えている。



質問する  
良岡 理一郎 議員

#### 3回目ワクチン接種65歳以上は4月から

#### 質問

3回目のワクチン接種の計画（対象、時期等）について伺う。

【答弁】 保健福祉課長

①ワクチン接種計画は、医療従事者125名は令和3年12月中旬から接種開始、65歳以上の高齢者は2,600名の内、施設入所者は令和4年2月、入所者以外は令和4年4月、65歳未満の2,450名は8ヶ月経過後順次接種予定である。

②小中学校の教職員への接種は国の動向を見ながら柔軟に対応する。

③この間の未接種者が新たに接種を希望される場合でも対応は可能である。

### 町内でのPCR自費検査は継続して協議中

【質問】

町内で行政検査のほかに有料でもPCR検査を希望する方も少なくない。

また、これから、年末年始の帰省や冬休み、春休みの帰省者の増加も予測される。安心して家族や友人らと過ごすためにも検査は必要である。

本町の医療機関や入島前の奄美など乗り継ぎ空港でのPCR自費検査は可能か。

【答弁】 保健福祉課長

①現在は保健所の指示で行政検査を実施、院内感染を防ぐための検査を実施している。その他の方のPCR検査は医療機関における人的体制が難しい。引き続き協議していきたい。

②現在、鹿児島空港や鹿児島市内で民間と県が連携してPCR検査センターが稼働している。奄美空港でもできないか要望していきたい。

### 陽性者の隔離は自宅を避け医療機関・宿泊療養施設で

【質問】

陽性が確認された場合の隔離の順序は医療機関、宿泊療養施設である。課題の宿泊療養施設は10月下旬に集落の皆さんの理解を頂く中で施設が確保できたようである。自宅での隔離は避けるとするのが県、町の方針であるが如何か。

また、島外搬送の現状を伺う。

【答弁】 保健福祉課長

①自宅での隔離療養は家族感染や重症化のおそれがあり、できるだけ避けたい。

②自衛隊や海上保安庁、県のヘリコプターを保健所の指示で利用していく。

その他の船舶搬送も可能性があるか検討してみたい。

### 軽石回収は順次進める漁協支援は先ず現在の制度を

【質問】

軽石回収作業の現状と対策を伺う。

また、軽石は海面に浮いているものだけでなく、その50cmから1m下に浮遊しているものもある。エンジンのオーバーヒート等により漁場から自力で動けず航された漁船も多い。(11月中旬で6隻)

被害額は漁具で約80万円、水揚げ損失約20万円、オーバーヒートしたエンジン修理約10万〜20万円、海水コシキの設置約30万円と高額の出費を余儀なくされている。保険適用されるのはエンジンなどが完全に壊れた場合のみであると聞く。漁業従事者の皆さんには若い世代の方も少なくなく、島の将来の為に生業が維持できるよう支援を強く求めたい。

【答弁】 町長・総務課長・企画観光課長

①島の景観や、珊瑚など生物への影響が出ている。漁業者や観光業への影響も大きい。

②回収作業は大量に漂着している空港ゴルフ場下、阿伝海岸などを



小野津の漁船と軽石

手始めに環境省の漂着物回収事業を活用し順次取り組んでいる。

③群島内の市町村長会、議長会が連名で県や国の主体的取り組み、財政支援、軽石の成分分析等を要望している。

④漁協への支援は船舶事故修繕資金の貸し付け、漁協の運営補助金、町の水産業活性化事業の補助金などの制度がある。先ずは活用していただきたい。

⑤保険適用できないものについてはどういった支援ができるかを検討する。

## 野生シカ5年間で214頭捕獲 2回目の生息頭数調査

質問

野生化したシカは、サトウキビ、牧草、柑橘類、バナナ、最近では山芋の被害も出ている。全体の捕獲状況と今後の対策を伺う。

答弁 農業振興課長

①平成29年度から直近までの年度別捕獲状況は平成29年度20頭、平成30年度39頭、令和元年度42頭、令和2年度67頭、令和3年度(11月末)46頭である。外来種でもあり根絶を目指したい。  
②本年度は2回目の生息頭数調査を予定している。

調査時期は11月～1月で、調査方法はセンサーカメラ(監視カメラ)を20ヶ所設置し、フン粒調査8ヶ所で行う。2月末までに結果をまとめる計画である。

## 消防分署は高台移転へ 町営宮戸団地は避難訓練も必要

質問

本町ハザードマップによれば近い将来最大で5mから10mの津波を想定している。懸案の消防分署の高台移転の検討は進んでいるか。ま

た、改築が進む湾宮戸団地の津波対策はどのように認識されているか。

答弁 町長・総務課長・まちづくり課長

①消防分署は築30年を超えており、大島地区消防組合管内で改築が遅れている施設の一つである。土地の確保、通信設備等も検討しつつ高台への移転を進める。  
②宮戸団地は津波浸水想定地域ではない。団地入口付近で海拔3mから4m。想定津波は2.4mである。避難訓練等の対策を実施している。



質問する  
米田 信也 議員

## 軽石回収 人員増強

質問

ビーチ、磯、たまりに漂着した軽石の回収、除去の方法について伺う。

答弁 町民税務課長

これまでの作業は、11月8日からシルバー人材センターに業務を委託し環境省の補助金で回収を行っている。

それから、11月16日は志戸桶天神、沖名泊を重機で回収。11月20日には島内の建設会社13社がボランティアで、小野津、志戸桶、阿伝を回収。11月27日には役場の職員が池治をボランティアで回収。これは土嚢袋で1,600袋を用意したが、回収しきれず。12月1日からは、一旦ゴルフ場の下の回収を中止して、阿伝にて回収。

その他、ビーチクリーンの団体が入江でのボランティアの作業などを行っている。

今後は、状況を見極めながら人員を増やし、様々なことを想定しながら回収していく。

質問

軽石が大量に漂着している現状を踏まえ、ボランティア、シルバー人材センターだけでは人員が不足していると感じられる。

そこで、障がいを持たれている方の仕事づくりという意味でも、島の障がい者、施設利用者の力を活用できないか伺う。

答弁 町民税務課長

はまゆり学園、ほつと館に確認したところ、障がいの度合い、作業時間、作業場所等をお互い協議を進めながら協力して、前向きに検討していく。

質問

ビーチ内、湾内に浮遊している軽石の回収について、見解を伺う。

答弁 町民税務課長

湾内に浮遊している軽石の回収方法を検討した。バキュームカー等で一気に回収できないか、リーフマデベルトコンベアをつなげて回収するなどしたがどれも難しいという回答であった。

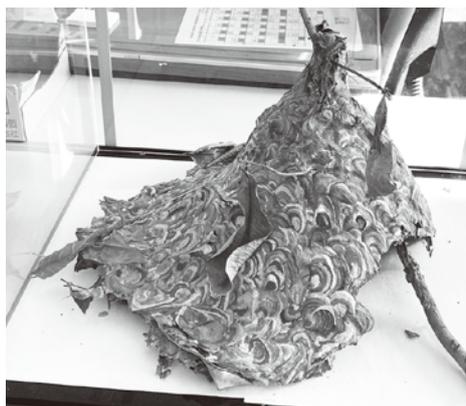
しかし、油の回収機を軽石に改良した機械があり、無料で貸し出してもらい操作員等が来島して行う予定。回収場所は検討中。

質問

回収した軽石の再利用方法などの見解を伺う。

答弁 農業振興課長

農業用資材として、排水性などの側面から土壌改良材としての活用も取り沙汰されている。現在、関係機関にて成分分析を行っている状況。



スズメバチ巣の標本(早町小保管)

高い塩類濃度も懸念され、現段階では作物への影響も確立されていない状況。今後、調査・分析を踏まえ、農業用資材として利用できないか関係機関を含めて検討する。

### スズメバチ 追跡調査

質問

白水で1つ、浦原で2つのスズメバチの巣が確認されたが、さらなる全島調査を行う必要があると思われるが、見解を伺う。

答弁 企画観光課長

島内において現在確認されているスズメバチの巣は、企画観光課で把握しているのは、五つ。そのうち四つの巣は、既に駆除が行われている。今後は、トラップ等による追跡調査を実施し、状況に応じて関係

各課及び専門家を交え、駆除方法等について協議しながら進めていく予定。

なお、本議会に上程している補正予算にて、関連経費を上げている。



質問する 野間 弘也 議員

### ペーパーレス化取り組み進める(紙の削減)

質問

タブレット端末を活用したペーパーレス化の取り組みが全国的に広がっている。本町において取り組みの検討をできないか見解を伺う

答弁 町長

ペーパーレス化は町を挙げて進めなければならないと認識をしている。環境面や費用面からノート型パソコンを活用したペーパーレス化を図っていく計画を進めている。タブレットの活用については、WiFi環境(ネット環境)の整備と併せて予算の確保ができた段階で可能と

考えている。議会と連携してペーパーレス化を進め、事務効率を図りたい。

質問

ICT※活用において、マイナンバーカードの普及は不可欠との見解があるが本町での取り組みについて伺う。

答弁 町長

国や県の方針に基づき取得や利用促進に向けたマイナポイント事業の推進に伴う申請の窓口支援等を行ってきた。現在マイナンバーカードに健康保険証の登録ができるようになっており、本町の診療所ではいち早くシステムを導入し対応できるようになっている。引き続き普及に努めていく。

※ICT(情報通信技術)とは、インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジーの略で、身近な例ではSNS上でのやり取りやメールでのコミュニケーション。ITは、ハード・ソフト・アプリケーション・OA機器等の全体を意味するもので、ICTはIT技術を使ってどのように人々の暮らしを豊かにしているかという活用方法。

### 議会のうごき(1月~3月)

- 2月 1日 (火) 議員研修会(鹿児島市)(議員全員)※新型コロナウイルス感染症拡大防止の為中止
- 2月15日 (火) 県議長会定期総会(鹿児島市)(議長)
- 2月16日 (水) 郡町村議会議長会・広域事務組合議会等(奄美)(議長)

ご案内

次の議会は、3月上旬を予定しています。午前9時30分 開会 皆様の傍聴をお待ちしています。

また、喜界町ホームページでは、議会開会中の様子をインターネット中継でご覧いただけます。(動画配信サイトで「喜界町議会定例会」を検索していただき、録画もご覧いただくことができます。)

お問合せ

喜界町議会事務局  
電話 65-1115

初の試みである「はがきアンケート」は大好評でございました。そのため、第186号議会だより（今月号）でも「はがきアンケート」をご用意しております。お手すきの際に、書いていただくと幸いです。  
今後たくさんのご意見・ご感想をお待ちしております。

## ◆「議会だより・議会」に対する意見（はがきアンケート）後半分

全体的に紙面・内容の両点でわかりやすくなった感じがします。町財政の内容もわかりやすく、条例案件報告等々、町政が身近に感じられるようになった気がします。【年代:60代】

毎回楽しみに拝読しております。町議会を身近に感じております。今後も喜界町の発展のためによろしく願います。【年代:40代】

「議会だより」とてもよい。ますます島が好きになる。頑張ってください。期待して見えています。文化ホールを1日も早く。【年代:30代】

自身は老後環境への関心が大きいです。高齢者の生活環境が整えば、島生活を求める方は増えると考えています。“声”を聞きとっていただける“場”を期待します。【年代:70代】

議会だよりの質問・答弁を楽しみに拝読しております。皆様方のご活躍を期待しております。【年代:70代】

町民が楽しく運動できる、施設を作ってほしい。（年齢問わず体力づくりの為）【年代:50代】

質問に対する答弁で検討するという回答があるが、ちゃんと検討していただき、その結果を明確に示してほしい。検討だけでは回答にならない。なーなーにしないでほしい。【年代:60代】

全議員が真剣に取り組んでいる姿は素晴らしい。欲をいわせてもらおうと女性議員が居ないのが寂しい。【年代:80代】

新人議員の皆さんの質問等に喜界町を思う気持ちが伝わってきました。今後の議員の活躍に期待したい。【年代:50代】

各委員会の活躍はどうなっているのでしょうか。何をされているのか見えてきません。町営納骨堂の早期実現をお願いします。高齢者の体力維持やリハビリを兼ねた、クリーンセンターの熱を利用した温泉ウォーキングプール等を実現してほしい。【年代:60代】

私達の代表者でいつも感謝を申し上げます。私は農家です。私達の喜界島の農業を若い皆さんにキバリヨ。キバランバ。応援を送る1人です。【年代:70代】

今回の議会だよりは具体的でとてもわかりやすい。個人の議会活動の様子や議会活動の様子がよくわかる。スギラビーチのグランドゴルフ場やアダンの茂りすぎ等切ったらどうか。【年代:不明】

郷土の芸能伝承に依る島唄や八月踊り等が近年はどの集落も減少しつつ感じ取られる。今現在高齢者が居るうちに先人が島の宝として残してこられた唯一芸能として各集落の区長と共に町民が考案されて、今の子供達にも方言、島唄、八月踊りを伝えて行くべきでないでしょうか？そこで島の町づくりの発展にも繋がると望んでいます。【年代:80代】

議会に女性議員が誕生するように力を発掘してほしい。【年代:70代】

問題意識を持たず、議員さんおまかせでした。議会だよりで喜界島の現状を改めて認識するところです。島の発展のためにも、もっと議会に関心を持って応援したいと思います。【年代:70代】

管理者のわからないボロボロの空家がありますが、台風季節が気になります。どうにかありませんか。後、野良猫が多すぎて困ってます。駆除はできないでしょうか。【年代:80代】

気になっている事が分かるのですごくいいです。まだまだ大変な時ですが頑張ってください。【年代:40代】

集落ごとの墓の建設、早急にお願いしたいですね。切実なお願いです。【年代:70代】

議員定数の削減・廃校跡を利用して共同納骨は出来ないか？手久津久下に港建設（冬場のみ）。飛行場のターミナル新しく建設してほしい。【年代:60代】

若い議員さん頑張ってください。【年代:70代】

読者の声

伊藤 嘉應 (花良治集落)

昔から人は125歳までは生きる事が出来る！と確信もない根拠のまま病気とは無縁だと思ひ44歳までお気楽に過ごしてきて10月の健康診断で引つ掛かりガンステージ4を告げられ今までと違う真逆生活を迎える事となった。

初期治療からいろいろな治療をしてきて約1年半は自身でも治療の大変さはあったが、体調的には不自由を感じる事は無かった。今年4月より徐々に不自由が増え気分転換的にどれぐらゐの実績作れるかは分からないが、少しは世の為人の為にたてないかと6月よりコミュニティサークルを立ち上げました。

とはいっても資金・役職、名誉があるわけでも無いなかで即座に力になれる事はないですが、島の人達は意外と「自分を殺して我慢してしまう傾向」があるなかで少しでも我慢している個々の内容を外に排出してその課題にサークルとして良い案などを皆で意見を持ち合い個々の情報、経験値でカバー出来ないものかと「喜界いど端お茶会」として月2回のペースでここ5か月程活動させていただいています。

まだ実績0、メンバー固定6人+aの暗闇で手探り活動ですが、素人集団が大きなお世話かも知れないですが時事的喜界町の未来を話題にあ

げ2時間ほど意見を出しあつたり「衣類・フードバンク」「プルタブ運動」など、どの様にすれば双方お金もかけないでお役にたてるか模索しています。

もしこの「お茶会」に興味を持たれましたら中学、高校生やご年配、これからの喜界町を担う子育て世代の方々がこのような場で少しのお力をお貸し願えないでしょうか？

また若い世代の政治やボランティアといった活動の起爆剤になればと考えます。

「待ついても物事は始まらない」の気持ちでいろいろと1人ではなく皆でやってみるのも悪くないかもですよ。

【報告】

伊藤嘉應さんは自らの経験から、同じように困っている方達のためにとの思いで昨年4月、議会へ「島外への治療、検査の為の渡航費に関する陳情」を提出しました。同年9月議会で採択されました。予算の確保や対象者の詳細など難しい面がありますが、国・県の力添えも頂きながら陳情の内容に応えられるよう取り組んで参ります。伊藤嘉應さんは、昨年12月末お亡くなりになりました。ご遺族の了承を得て掲載させて頂きました。

編集後記

正しい、正解、自問自答を繰り返す。常に心にある言葉がある、先輩議員が初めて議員に当選したとき祖父から言われ大事にしている言葉「ただまっすぐやれば上等」決断をする際想つ。

テレビ、新聞、ネット、さまざまな情報が流れている。情報を精査し選択肢を考える。今大事にしているのは、経験と現実、30代で経験は浅いが今は信じるしかない。

議会だよりも熱のある委員6名は正解を求めて日々奮闘中。熱をもって「ただまっすぐ」やれば、失敗してもいつか正解がみえると信じて変わらぬ取り組んで参ります。

文責 野間弘也



「ただまっすぐ」

- 喜界町議会広報委員会
- 委員長 良岡 理一郎
- 副委員長 倉橋 博都
- 委員 野間 弘也
- 委員 生島 常範
- 委員 米田 信也
- 委員 土岐 和貴